

針あり
さらば、ステープラー。

KOKUYO

ひらめき・はかどり・こちよさ

針をつかわず、
紙をとじる「ハリ
ナックス」にす
ること、ビジネス
はどのように
変わったのか?

ハリナックスの現場での活用例は中面からご覧ください。

コクヨ・ビジネスレポート〈vol.1〉



小さな文房具から始まった、
大きなムーブメント。

いま、なぜ、 「ハリナックス」 なのか。



Harinacs
針なしステープラー(ハリナックス)

※この写真の商品は数量限定品です。

針のいらないステープラーとして、2009年に発売された「ハリナックス」。
出荷台数は既に350万台。いまや海外からも注目されている文房具のひとつとなった。
最近では、ビジネスマンや企業の目に留まり、家庭からビジネスユースへと広がりをみせている。
なぜ、ビジネスの現場で人気なのか。そのポイントを探ってみた。



例 えば、シュレッダーの時に、針をわざわざ外すムダ。

いま、企業では情報管理の徹底を強く求められている。そのため、どんな企業でもシュレッダー処分が必要な書類の割合は高くなり、その都度、書類を留めたステープラーの針を外さなければならない。ただ、量が増えたとその作業に追われ、業務負荷を感じるビジネスマンも多いのではないだろうか。しかし、針のいらない「ハリナックス」なら、書類をそのままシュレッダー処理することが可能。そもそも、針を外す作業時間を別の仕事に充てる方が、効率的。それに気づいた人々が、新しいビジネスツールとして活用を始めている。



「ハリナックス」を取り入れる企業が、ぞくぞく増えている。

もちろん、「ハリナックス」のメリットはそれだけではない。ステープラーの針は、さまざまな面から事業に〈支障〉をきたす可能性をはらんでいる。たとえば、食品メーカーの異物混入。教育産業では、針による子供たちのケガや誤飲の可能性。細心の注意を払うのは当然だが、そもそも針を使わなければ、そのリスクは大きく軽減できる。また、たとえ小さな針だとしても、社員の多さやステープラーを使う頻度によって、経費や環境の面からも、その負担を大きく減らすことができる。個人はもちろん、課などの部署に導入を始めている企業が増加している。

取り入れた企業の4つの着眼点



「ハリナックス」の業種別役立ち例	
「食品」「医薬」業界	異物混入の防止
「教育」「医療・福祉」業界	誤飲の防止、針によるケガの防止
「保険・金融」「ホテル・旅行」業界	個人情報のシュレッダー作業の軽減
他	

使い方は、カンタン /

- 用紙を差し込み、とじ穴の位置を確認します。
- ハンドルをしっかり握りこみます。
- 用紙を引き出して完成です。
- 角とじも横とじもできます。
(※本体に角とじのガイドもついています)

「ハリナックスが、私の仕事に対する意識も変えた」

大日本印刷株式会社 C&I事業部 梶川純子さま

「ハリナックス」を使うきっかけは？

企画担当として、初めて食品メーカー様を担当したのが始まりです。「針で留めた書類は提出しないように」と要請されました。それまで別の業界のお得意先様から言われたことがなかったので、驚きました。人の口に入るものを製造する食品業界は、「とても進んでいる」「徹底して、リスクを排除している」と感じました。

はじめから「ハリナックス」でしたか？

もともと「針不要の留める機械」は会社にあったのですが、結構おおげさな仕組みで、使いづらくて。留めるのにも、力やコツがいりました。



お使いの「ハリナックス」を手にする梶川さま



そんなときに、「ハリナックス」と出会われたと。

文具店で見たとときに、「これだ!」とさっそく購入しました。力を入れることなく、普通のステープラーと同じように、パッと紙を留めることができます。目からうろこというか、そのカンタンさが画期的だと感じました。担当の営業マンは見積書などにも使っているようです。また、弊社のIRの部署も配布する資料は、環境の観点から「ハリナックス」を使っていて、ブランディングに役立っているようです。

以来、ずっと使われているんですね。

仕事柄、まだ世に出ていない新製品の販促企画書など、絶対に外部に漏れてはいけない情報が多いんです。つまり、担当の食品メーカー様への提出書類以外にも、私が作った書類はすべてシュレッダー廃棄。いちいち針を外すとき、爪が割れそうな不安もなくなりました。

なら、もう手放せないですね。

最近は、いろんな時に使っています。メモなどちょっと紙を留めるときにも、とても便利なんです。個人用の小さなものを、打ち合わせのときにも持ち歩いています。

どうもありがとうございました。



片手で軽く
押すだけで完了

「ハリナックス」ラインナップ

一課に一台がおすすめ		あなたのデスクの引き出しに	
<p>2穴ファイルにとじたい書類なら!</p> <p>最大とし枚数 約10枚</p> <p>卓上タイプ(2穴タイプ)</p>	<p>とじ位置自在、大量の部数をとじるなら!</p> <p>最大とし枚数 約12枚</p> <p>卓上タイプ</p>	<p>片手でアクティブに!</p> <p>最大とし枚数 約8枚</p> <p>ハンディタイプ</p>	<p>チョコットとじなら!</p> <p>最大とし枚数 約5枚</p> <p>ハンディタイプ</p>
そのままファイルへとする月次報告などに	社内資料など、大量の部数におすすめ	自分用の資料やちょっとした書類に	領収書や簡単な資料まとめに

詳しい情報は [こちら](http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/sl-stapler/) <http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/sl-stapler/>

「品質管理の徹底が、 企業の信頼性を高めていく」

大日本印刷株式会社 包装事業部 課長 有元諭史さま

も ちろん、食品メーカー様からのご要請もあるのですが、我々の事業部の印刷工場も品質保証の観点から書類はすべて「針を使うとじ方」はしていません。異物が混入する可能性は、お客様の工場でのライントラブルに限りませんから。

さらには、外部に依頼している配送業者の方にも、複数の伝票をとじるときなど「針なし」を徹底してもらっています。このフードディフェンスという考え方で実施されている「針を使わないとじ方」は、食品業界ではかなり前から当たり前のこと。

また、針の混入は業界に関係なく信頼を損ねる要因になるはずですから、これから他の業界へもどんどん波及していくように思います。

個人的には「ハリナックス」を使っていますが、企業が「ハリナックス」を使うことは、品質に対する意識の向上に役立つと考えています。



「徹底することが大切」
と有元さま

大手食品メーカーの
ご担当者様にも
お聞きしました！

安全・安心な商品をお届けする。それは、食品メーカーの社会的責任。品質維持管理のために、異物混入対策を進めており、中でも金属混入（ステープラーの針など）は、身体に危害を及ぼし、重大な品質事故につながるリスクの高いものです。混入を避けるには、持ち込まないことが第一の対策。混入経路を断つ目的で、全てのお取引先様に対し、全ての書類への針ありステープラーの使用を禁止しており、代替品での取扱いのご協力と周知をお願いしています。このよう

な取組みの中で、「ハリナックス」のような針なしステープラーでとじられた資料は金属混入の心配が全くないので、安心して受け取ることができます。また、シュレッダーで処分する場合も代替品のクリップなどを外す手間もなく、助かっています。また、<針を入れる手間が省ける、買い足す必要がない>など環境に対する配慮も…。そういう意味では針なしステープラーでとじられた資料をいただくと、「お気遣いいただいているのだな」と感じます。



つかって、納得！

貴方のビジネスを変えるハリナックス。是非ともお試しく下さい。

コクヨS&T株式会社

〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <http://www.kokuyo-st.co.jp/>

商品に関するお問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

お客様相談室 ☎0120-201594

お客様相談室 FAX ☎0120-060660